

● 今日私は私が人生の中で「すごい！」と思  
● った人についてしようかいする。  
● それは、兄である。  
● 私自身、一つのことをとことんやる人間  
● であると思うが、兄はそのとことんが、  
● ふつうの人間のレベルをはるかにこえて  
● いたのだ。  
● 受験という高校に行くための試験の勉強  
● の時にそれは見られた。  
● 兄は、休みの日、一日16時間勉強をし  
● ていた。  
● それも勉強の仕方がふつうではない。  
● 今日国語辞典を全て覚える！と決めた  
● ら、それを16時間ずっと読み続け、  
● 本当に全部覚えてしまうのである。  
● 兄の勉強ノートは1日で2さつになる時  
● もあった。  
● 兄は常に言っていた。「満足する人間は  
● そこで終わる。オレは常に上を目指す」  
● そんなとことんやる兄は今、菓を作る人  
● となった。  
● 小学校からきょう味があつたことを実現  
● させたのである。  
● 夢に向かっるところががんばれる人こそ  
● 私がすごいと思える人である。

問い 1 先生がすごいと思った人は（ ）  
問い 2 先生の兄が常に言っていたこととは  
「満足をする人間は

「